

§ 8 . おわりに

鋼橋技術研究会発足と同時にスタートしたこの研究会も、今年で7年目を迎えた。この間、ほとんどの委員が、継続して研究活動に参加し、今回の研究成果をまとめることができた。これは、委員の所属する法人各位の御協力があったのことに感謝している次第である。

おりしも、今年10月には、本州四国連絡橋Eルートに、本格的複合斜張橋「生口橋」が完成した。委員会活動を通じて、各委員の技術レベルの向上と、親交が深められたことは、大きな喜びである。

今後の鋼橋技術研究会の発展を期待している。